

2011年度 第3四半期 決算説明会資料

富士フイルム ホールディングス株式会社
2012年1月30日



本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

2011年度第3四半期（9ヶ月）連結業績

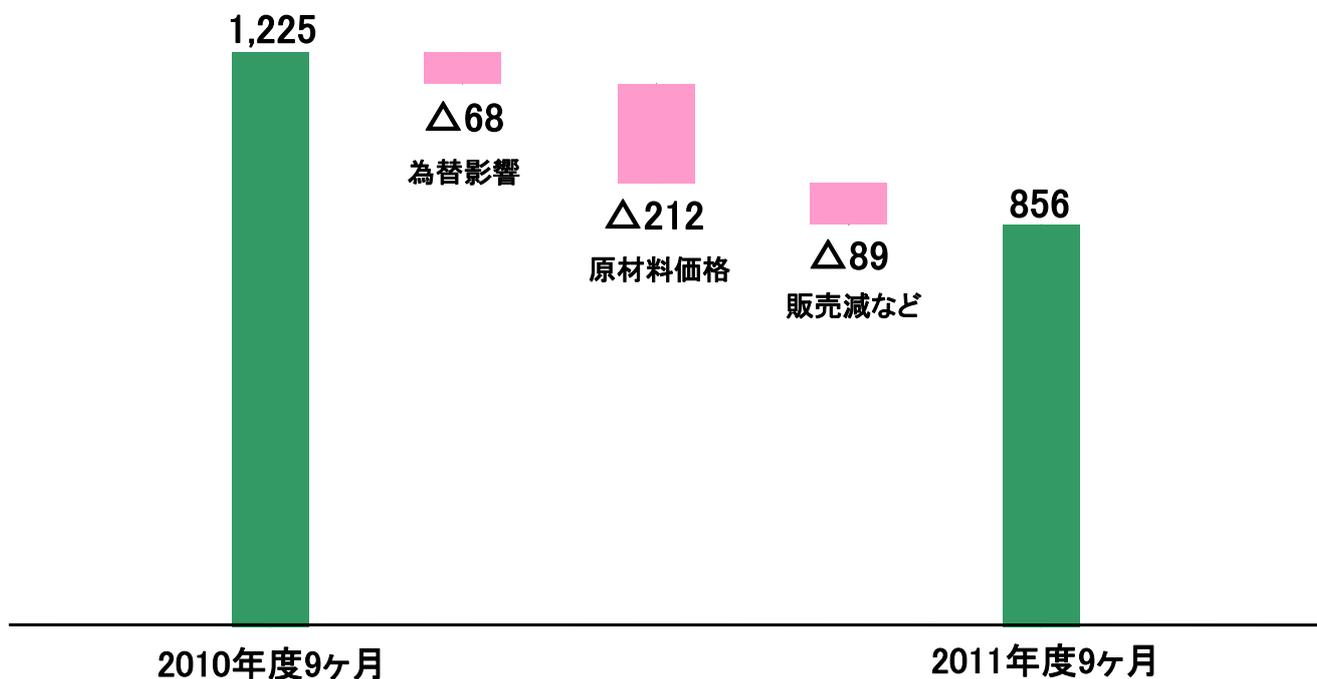
為替の円高や震災に伴う需要減少、タイの洪水の影響などにより
売上高、営業利益ともに減少

(単位: 億円)

	2009年度 9ヶ月累計		2010年度 9ヶ月累計		2011年度 9ヶ月累計		対前年増減	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	15,971	100.0%	16,517	100.0%	16,185	100.0%	-332	-2.0
営業利益	-24	-0.2%	1,225	7.4%	856	5.3%	-369	-30.1
税金等調整前 四半期純利益	-7	-0.0%	1,091	6.6%	577	3.6%	-514	-47.1
当社株主帰属 四半期純利益	-70	-0.4%	584	3.5%	237	1.5%	-347	-59.4
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	-14.31円		119.72円		49.19円		-70.53円	
為替 : 米ドル	93円		87円		79円		-8円	
: ユーロ	133円		113円		110円		-3円	

■ 営業利益増減要因 (対2010年度9ヶ月)

(億円)



2

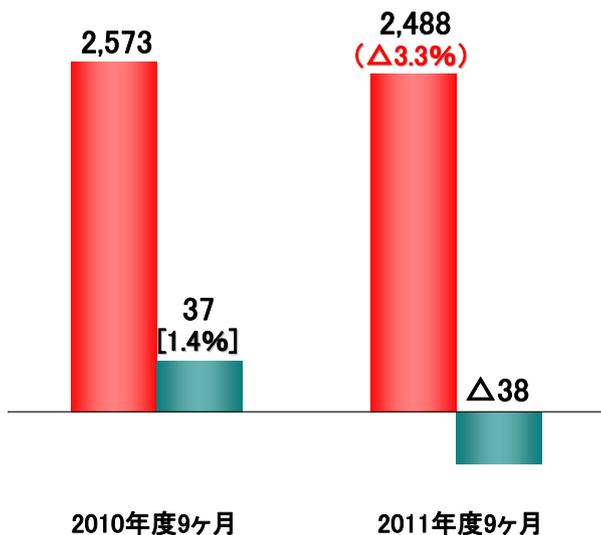
事業別セグメント情報

■ イメージング ソリューション

売上高*・営業利益

単位:億円
 []:営業利益率
 (:):前年比

■ 売上高
 ■ 営業利益



売上高

2,488億円(前年比:3.3%減)
 (為替影響を除く 前年比:1.3%増)

- デジタルカメラの販売が好調に推移したものの、為替の円高などの影響により減少。
- 為替円高影響 △118億円

営業利益

△38億円(赤字化)

- コストダウンに取り組んだものの、為替の円高や銀など原材料価格高騰の影響などにより減少。

2010年度9ヶ月

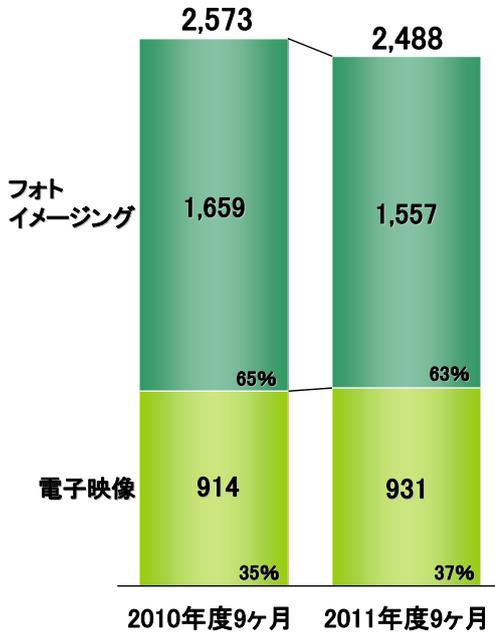
2011年度9ヶ月

*セグメント間取引消去後

3

サブセグメント売上高

単位: 億円
%: 売上構成比



フォトイメージング 1,557億円 (前年比: 6%減)

- 為替の円高や震災の影響により売上は減少。
- カラーペーパーは販売が好調で、売上増。シェアも拡大。

電子映像 931億円 (前年比: 2%増)

- 総需減の中、当社の第3四半期累計の販売台数は前年比約7%伸張し、約950万台に。
- 「FUJIFILM X100」や「FinePix F600EXR」等特徴ある中高級モデルの販売が好調。2011年10月発売の「FUJIFILM X10」も滑り出し好調。
- 今年度の販売台数は、前年比16%増の1,300万台を目指す。

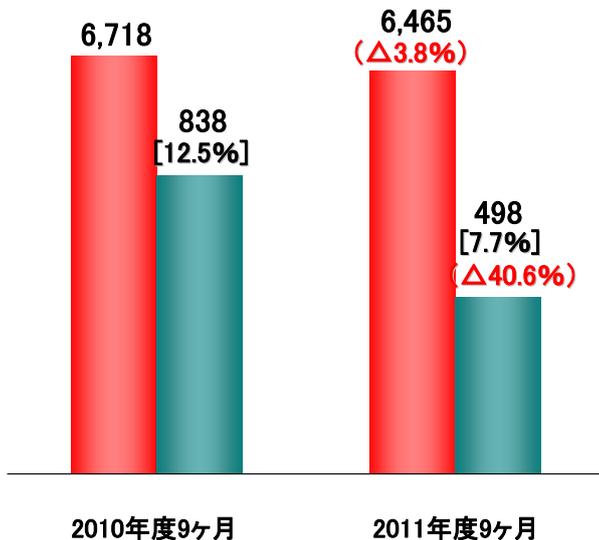
事業別セグメント情報

■ インフォメーション ソリューション

売上高*・営業利益

■ 売上高
■ 営業利益

単位: 億円
[]: 営業利益率
(): 前年比



売上高

6,465億円 (前年比: 3.8%減)
(為替影響を除く 前年比: 0.9%減)

- 為替の円高や震災に伴う需要減少の影響などにより主要事業の売上が減少。
- フラットパネルディスプレイ材料事業が、需要の旺盛であった前年同期との比較では売上減少。
- 為替円高影響 △192億円

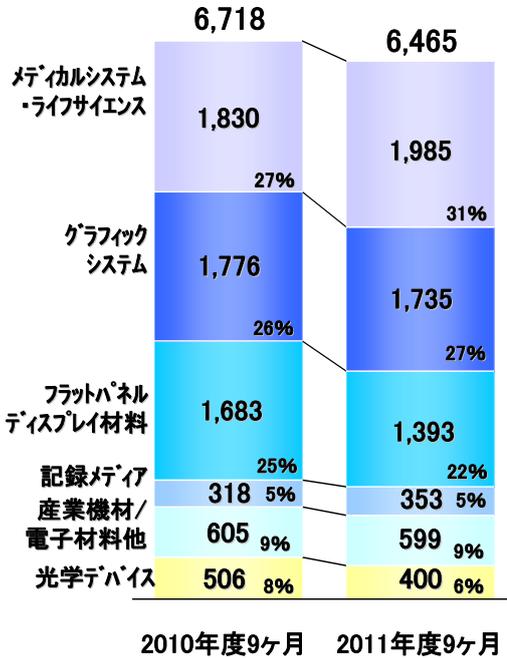
営業利益

498億円 (前年比: 40.6%減)

- コストダウンに取り組んだものの、売上減少、円高や銀、アルミなど原材料価格高騰の影響により減少。

サブセグメント売上高

単位: 億円
%: 売上構成比



メディカルシステム・ライフサイエンス

1,985億円 (前年比: 9%増)

- 円高などの影響を受けたが、化粧品や医薬品の売上拡大により売上増。
- 低価格・小型FCR「FCR PRIMA T」の販売が好調に推移。
- X線発生装置と接続不要なDR「CALNEO flex」を発売する等ラインアップを拡充。
- 「SYNAPSE」等の医用画像情報ネットワークシステムは国内トップシェアを維持。
- ライフサイエンスは、「アスタリフト」のヘアメイクシリーズを市場投入。
- 医薬品は、「ゾシン」*等の販売が好調に推移。
- 抗インフルエンザウイルス薬「T-705」国内製造販売承認申請中。

グラフィックシステム

1,735億円 (前年比: 2%減)

- 円高や震災に伴う需要減により売上減。
- 環境対応型CTPの拡販によりCTPシェア拡大。
- 次世代インクジェットシステム「Jet Press 720」を12月に発売。

フラットパネルディスプレイ材料

1,393億円 (前年比: 17%減)

- 日本のエコポイントや中国の家電普及政策の効果などにより液晶テレビの需要が旺盛であった前年同期と比較すると売上は減少。

記録メディア

353億円 (前年比: 11%増)

- BaFe磁性体**を使用したデータテープや業務用ビデオテープが好調。

産業機材/電子材料 他

599億円 (前年比: 1%減)

- イメージセンサー用カラーモザイク、ArF液浸レジストなど電子材料は売上拡大。

光学デバイス

400億円 (前年比: 21%減)

- 携帯電話用レンズの販売が減少し、売上減。

*「ゾシン」: 肺炎、敗血症、腎盂腎炎、複雑性膀胱炎に用いる注射剤 **BaFe: バリウムフェライト

協和発酵キリンとバイオ後発薬で合併

2011年11月、バイオ医薬分野の強化に向け、協和発酵キリンとバイオシミラーの合併会社設立で合意。
2012年春に合併会社設立、2013年に臨床試験開始を目指す。

富士フィルムのバイオ医薬関係会社

- ペルセウスプロテオミクス : バイオ医薬品新薬の開発
- FUJIFILM Diosynth Biotechnologies UK/USA : バイオ医薬品の受託製造
- 富士フィルムRIファーマ : 放射性医薬品の開発、製造、販売

超音波診断装置メーカーSonoSiteの買収合意

2011年12月、米国携帯型超音波診断装置メーカーSonoSiteの公開買付けによる買収で合意。
携帯型超音波市場シェア1位、2017年に超音波診断装置全体で売上高600億円を目指す。

SonoSiteの概要

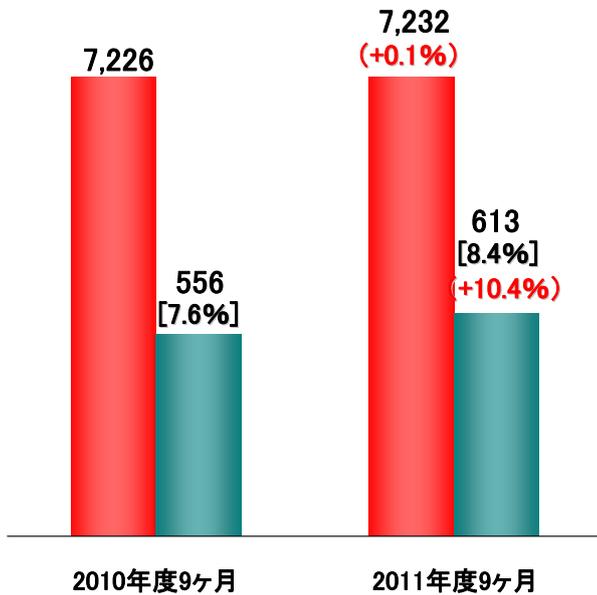
- 設立 : 1998年
- 売上(2010年) : 275百万米ドル (携帯型超音波診断装置市場シェア2位(約4割)一)
- 営業利益(2010年) : 27百万米ドル

ドキュメントソリューション

売上高*・営業利益

■ 売上高
■ 営業利益

単位: 億円
[]: 営業利益率
(): 前年比



*セグメント間取引消去後

売上高

7,232億円(前年比:0.1%増)
(為替影響を除く 前年比:1.4%増)

- 震災やタイの洪水の影響を受けたものの、アジア・オセアニア地域での成長が持続し、全体で増加。
- 為替円高影響 △95億円

営業利益

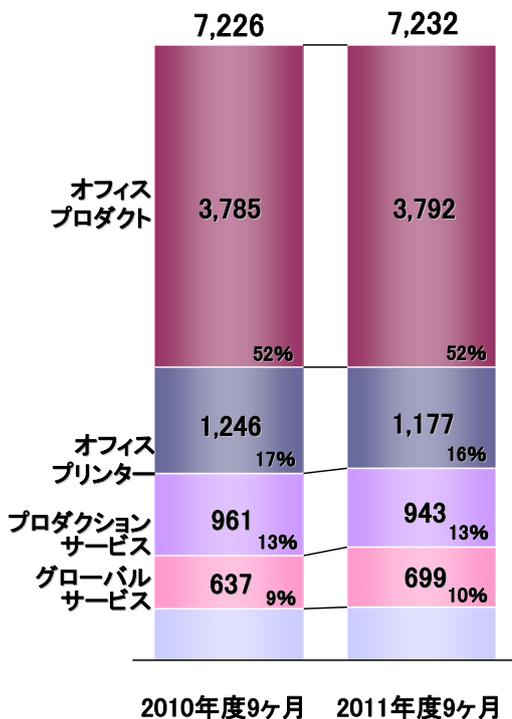
613億円(前年比:10.4%増)

- 震災やタイの洪水への対応で一部費用増があったものの、生産性や開発効率等の継続的な改善により増益。

事業別セグメント情報

サブセグメント売上高

単位: 億円
%: 売上構成比



オフィスプロダクト

3,792億円(前年比:横ばい)

- 国内はカラー機の販売台数が増加。
- アジア・オセアニア地域では、カラー機、モノクロ機ともに販売台数が増加。米国ゼロックス向けはカラー機の大幅増加により出荷台数が増加。

オフィスプリンター

1,177億円(前年比:6%減)

- 国内は新商品効果により、販売台数が増加。
- アジア・オセアニア地域ではカラー機は販売台数が増加したが、モノクロ機の減少により全体で減少。

プロダクションサービス

943億円(前年比:2%減)

- 国内はライトプロダクション・カラーシステムやエントリープロダクション・カラーシステムの販売増により、販売台数が増加。
- アジア・オセアニア地域では、エントリープロダクション・カラーシステムの販売好調により、販売台数が増加。

グローバルサービス

699億円(前年比:10%増)

- アジア・オセアニア地域での大幅な伸長により売上増。企業全体の出力環境を包括的にマネジメントする「エンタープライズ・プリント・サービス」の提供を日本およびアジア・オセアニア地域で開始。

■ 2011年度通期業績予想修正

(単位:億円)

	2010年度 実績		2011年度 11年10月31日発表予想		2011年度 今回発表予想		対前年実績増減	
							金額	%
売上高	100.0%	22,171	100.0%	22,900	100.0%	22,000	-171	-0.8
営業利益	6.2%	1,364	6.0%	1,365	5.0%	1,100	-264	-19.3
税金等調整前 当期純利益	5.3%	1,171	4.7%	1,075	3.5%	780	-391	-33.4
当社株主帰属 当期純利益	2.9%	639	2.4%	540	1.3%	280	-359	-56.1
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益		131.30円		112.10円		58.13円		-73.17円
1株当たり 年間配当金		30円		35円		35円		+5円
為替 :米ドル		86円		78円		78円		-8円
:ユーロ		113円		109円		107円		-6円

為替感応度(年間/営業利益) 米ドル 11億円 ユーロ 7億円

FUJIFILM

わたしたちは、先進・独自の技術をもって、
最高品質の商品やサービスを提供する事により、
社会の文化・科学・技術・産業の発展、
健康増進、環境保持に貢献し、
人々のクオリティ オブ ライフのさらなる向上に寄与します。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 IR室

<http://www.fujifilmholdings.com>

■ 2011年度第3四半期(3ヶ月)連結業績

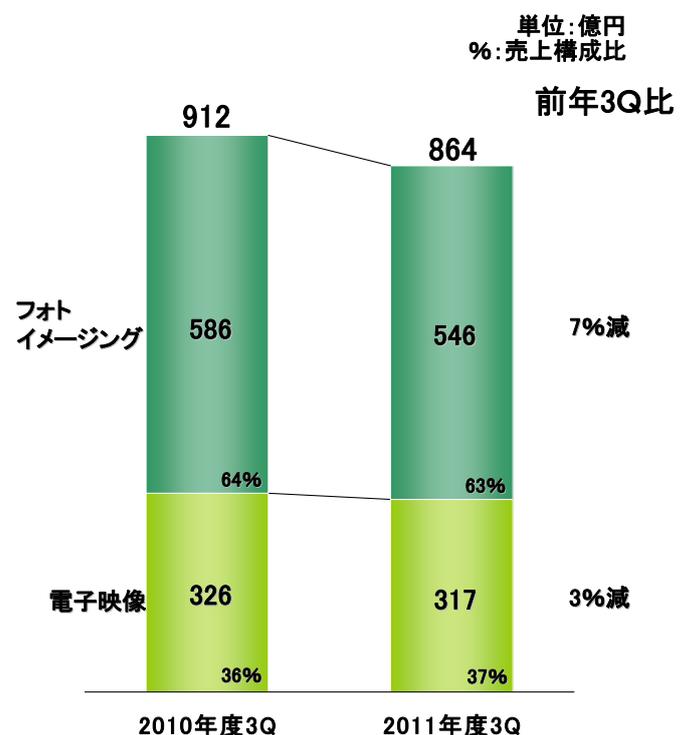
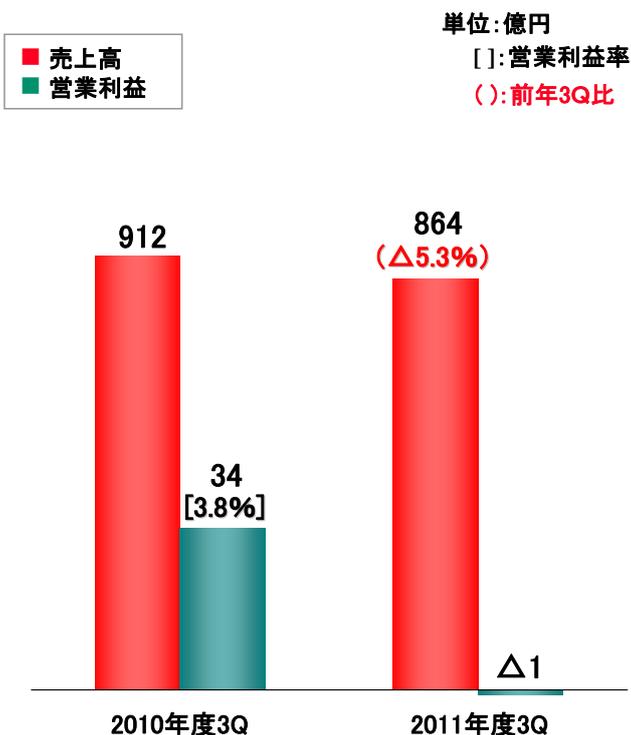
(単位:億円)

	2009年度 3Q		2010年度 3Q		2011年度 3Q		対前年増減	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	100.0%	5,536	100.0%	5,464	100.0%	5,351	-113	-2.1
営業利益	1.1%	62	6.7%	366	5.0%	266	-100	-27.5
税金等調整前 四半期純利益	1.3%	72	5.9%	321	4.7%	250	-71	-22.4
当社株主帰属 四半期純利益	-0.3%	-16	3.3%	181	1.6%	88	-93	-51.4
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益		-3.24円		37.23円		18.26円		-18.97円
為替 :米ドル		90円		83円		77円		-6円
:ユーロ		133円		112円		104円		-8円

■ イメージング ソリューション

売上高*・営業利益(3ヶ月)

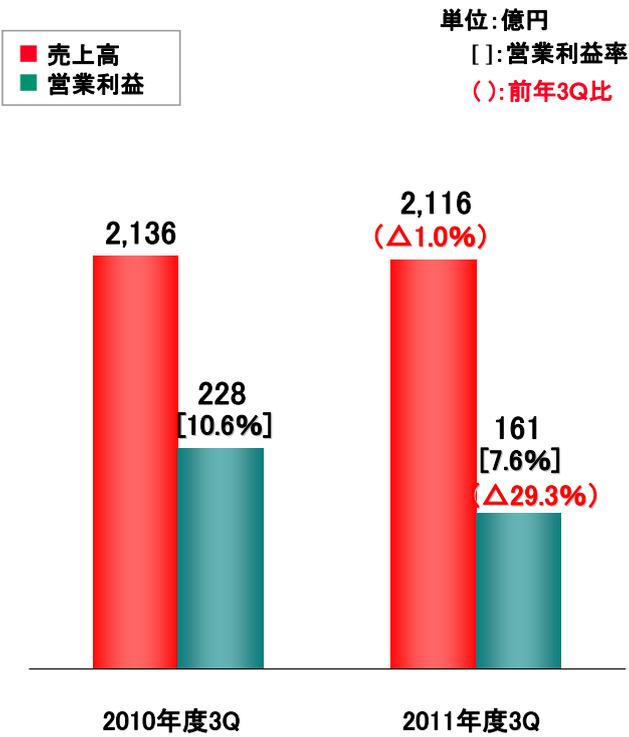
サブセグメント売上高(3ヶ月)



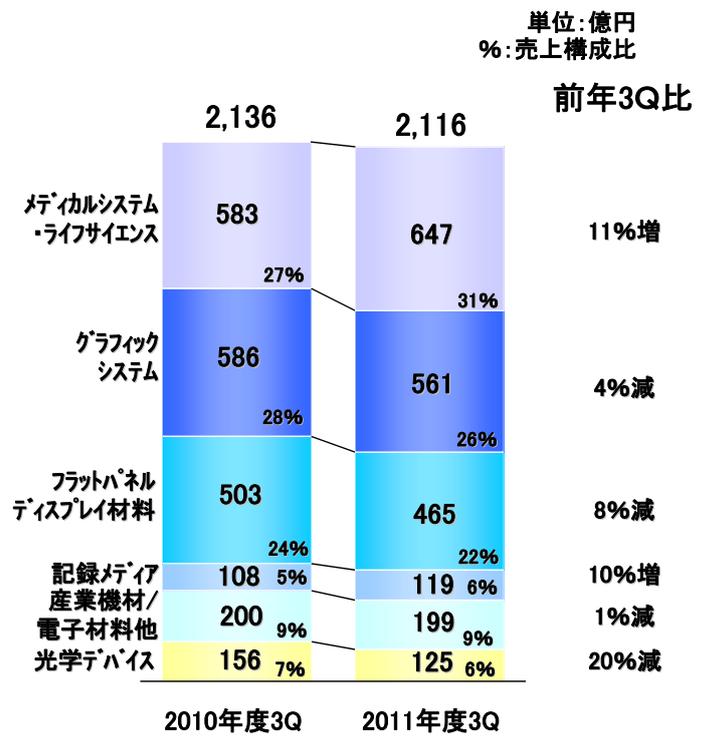
*セグメント間取引消去後

■ インフォメーション ソリューション

売上高*・営業利益(3ヶ月)



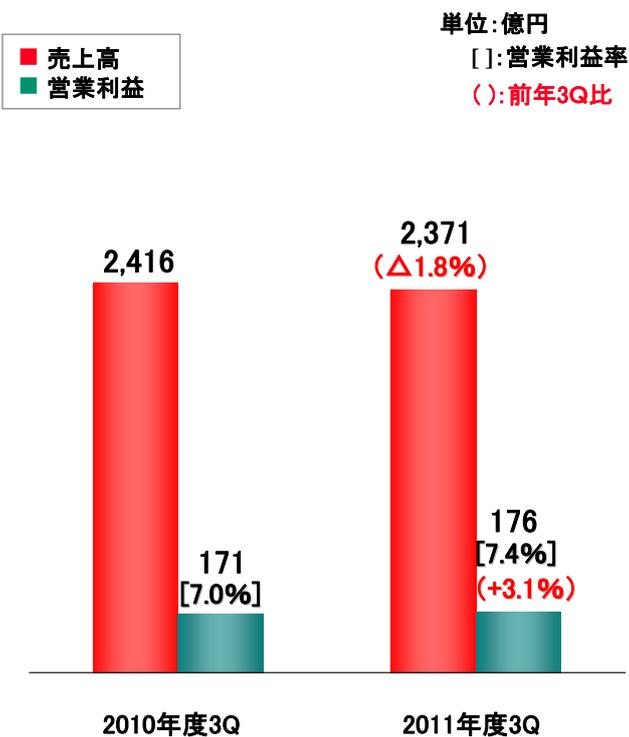
サブセグメント売上高(3ヶ月)



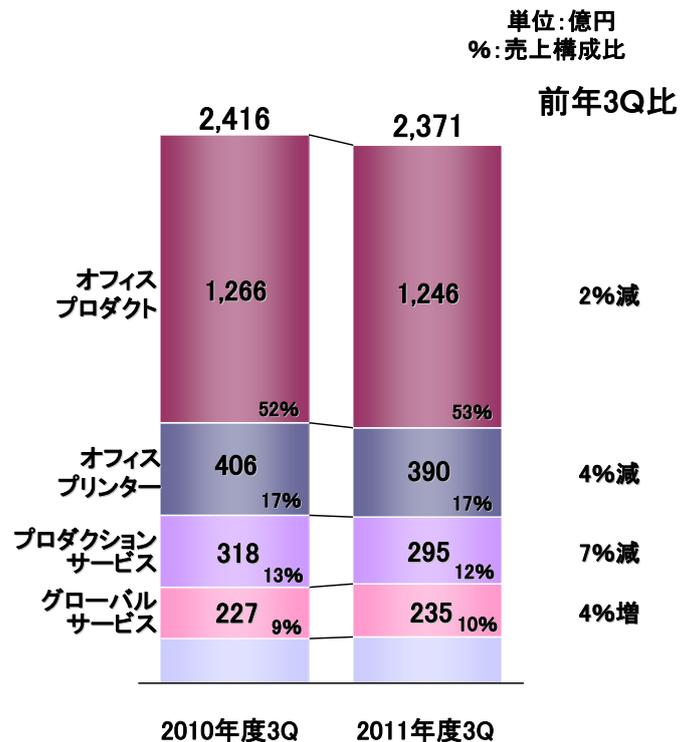
*セグメント間取引消去後

■ ドキュメント ソリューション

売上高*・営業利益(3ヶ月)



サブセグメント売上高(3ヶ月)



*セグメント間取引消去後

■ 国内・海外別連結売上高

(単位:億円)

	10年度9ヶ月		11年度9ヶ月		
	構成比(%)		構成比(%)		前年比(%)
日本	45.8	7,570	45.1	7,297	-3.6
米州	17.1	2,825	17.1	2,767	-2.0
欧州	11.8	1,947	12.3	1,999	+2.6
内、中国	7.8	1,290	9.4	1,515	+17.4
アジア他	25.3	4,175	25.5	4,122	-1.3
海外	54.2	8,947	54.9	8,888	-0.7
合計	100.0	16,517	100.0	16,185	-2.0

■ 設備投資、減価償却費

(単位:億円)

	2009年度			2010年度			2011年度		
	3Q	9ヶ月	年度	3Q	9ヶ月	年度	3Q	9ヶ月	年度(予)
イメージング	22	63	91	16	56	81	23	56	
インフォメーション	50	203	285	179	412	618	111	445	
ドキュメント	32	244	403	29	111	195	36	111	
コーポレート	0	0	0	7	16	5	6	20	
設備投資 ※	104	510	779	231	595	899	176	632	1,000
イメージング	48	162	219	22	71	101	25	72	
インフォメーション	253	738	991	188	554	774	188	550	
ドキュメント	197	533	736	163	497	658	154	433	
コーポレート	2	4	5	10	28	38	8	24	
減価償却費	500	1,437	1,951	383	1,150	1,571	375	1,079	1,500
有形固定資産の減価償却費 ※	348	980	1,351	259	770	1,066	243	695	1,000

※ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

■ 研究開発費、販売費及び一般管理費

(単位:億円)

	2010年度			2011年度		
	3Q	9ヶ月	年度	3Q	9ヶ月	年度 (予想)
イメージング	17	50	76	23	57	
インフォメーション	189	533	697	210	569	
ドキュメント	149	493	654	139	468	
コーポレート	55	164	226	56	167	
研究開発費	410	1,240	1,653	428	1,261	1,750
<売上高比>	7.5%	7.5%	7.5%	8.0%	7.8%	8.0%
販売費及び 一般管理費	1,442	4,253	5,706	1,414	4,269	5,600
<売上高比>	26.4%	25.8%	25.7%	26.4%	26.4%	25.5%

18

参考データ

■ キャッシュフロー

(単位:億円)

	09年度9ヶ月	10年度9ヶ月	11年度9ヶ月
四半期純利益	-43	647	337
減価償却費	1,437	1,150	1,079
受取債権の増(-)減(+)	-70	-221	-160
棚卸資産の増(-)減(+)	402	-475	-384
営業債務の増(+)-減(-)	20	-61	-183
未払法人税等他負債の増(+)-減(-)	-143	-119	-252
その他	464	277	254
営業活動によるCF	2,067	1,198	691
設備投資	-641	-673	-742
ソフトウェアの購入	-113	-124	-143
有価証券・投資有価証券等の売却・購入	-108	-67	222
その他	-85	-225	-208
投資活動によるCF	-947	-1,089	-871
フリーキャッシュフロー	1,120	109	-180
営業活動によるCF+設備投資	1,426	525	-51

19

■ 連結貸借対照表

(単位:億円)

	09年度末	10年度末	11年12月末		09年度末	10年度末	11年12月末
現金及び現金同等物	4,062	3,131	2,485	長短社債及び借入金	2,956	1,896	1,728
受取債権	4,950	5,022	4,998	支払債務	2,616	2,614	2,314
棚卸資産	3,031	3,422	3,718	その他流動固定負債	3,944	4,069	3,572
有価証券 その他流動資産	2,062	1,533	1,631	負債計	9,516	8,579	7,614
流動資産計	14,105	13,108	12,832	株主資本計	17,461	17,225	16,969
有形固定資産	6,017	5,641	5,434	非支配持分	1,297	1,284	1,315
営業権	3,259	3,444	3,349	純資産計	18,758	18,509	18,284
投資有価証券 その他資産	4,893	4,895	4,283	負債・純資産合計	28,274	27,088	25,898
固定資産計	14,169	13,980	13,066				
資産合計	28,274	27,088	25,898				

(単位:円)

期末日為替レート	09年度末	10年度末	11年12月末
米ドル	93	83	78
ユーロ	125	118	101

■ 富山化学工業(株)新薬開発スケジュール

開発番号	薬効	地域*	開発段階					剤形
			非臨床試験	P I	P II	P III	申請	
T-705	抗ウイルス剤	日本						経口
		米国						
T-614	抗リウマチ剤	日本						経口
T-3811	ニュータイプのキノロン系合成抗菌剤	日本						注射**
		米国						経口/注射
		欧州						
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療剤	米国						経口
T-5224	抗リウマチ剤	日本						経口
		海外						
T-2307	抗真菌剤	米国						注射
T-1106	抗ウイルス剤	日本						経口

* 海外については富士フィルムグループとして開発

** 経口剤は「ジェニナック」として発売

T-705は、日本においてPⅢが終了し、2011年3月30日に製造販売承認申請済み。

■ 為替、為替感応度、人員

● 為替

(単位:円)

	2010年度					2011年度					
	9ヶ月				年度	9ヶ月				4Q (予想)	年度 (予想)
	1Q	2Q	3Q			1Q	2Q	3Q			
米ドル	92	86	83	87	86	82	78	77	79	77	78
ユーロ	117	111	112	113	113	117	110	104	110	98	107

● 為替感応度(年間)

	営業利益
米ドル	11億円
ユーロ	7億円

● 人員

(単位:人)

	2010.12末	2011.3末	2011.6末	2011.9末	2011.12末
連結	78,177	78,862	79,367	81,387	81,316